



種の保存 小さな取組の発信源に！

せら夢公園 主任 猪谷 信忠さん

2008年4月
から世羅町黒
瀬「せら夢公園」

に勤務し、園内にある約33の自然観察園で湿原やため池などの管理に励む高知県出身の猪谷さん。

世羅町のことは全く知らなかったが、縁あって公園を管理する第3セクターに就職された。

本人いわく、世羅台地は、日本海と瀬戸内海に流れる源流の地で、中国山地の分水嶺。豊かな自然やため池が数多くあり、「日本の重要湿原500選」にも選ばれている。この自然を守り、育て・学べる環境を目指しているとのこと。

また、備後の国大田庄として古くから稲作が行われており、草刈りや山林の手入れといった人々の暮らしによって「里」という農村環境が育まれてきたが、近年は、開発や暮らしの変化によって「里」の環境は減少し、絶滅が心配される数多くの生物がある。ここ世羅では、自然と共存した、取り組みがおこなわれており、それらを保護しながら後世に残していくことが我々の役割であると言われる。

また、ヒョウモンモドキは、以前は、どこの湿地にも見られた蝶であるが、環境の変化や田んぼの整備で、湿地がなくなったことや、乱獲により急激に居なくなった種のひとつと惜しまれる。

絶滅危惧種は、一定の個体数がいなかったら、種は急激に減少し、再びこれらが住む環境を作るには莫大な労力と時間を必要とすると熱く語られる。

この世羅の地は、昔から続けられた「里」の管理により、キキョウやサギソウ、オグルコウホネなど、絶滅危惧種も普通に残っている珍しい地域で、引き続きこれらの種を残す活動の力になりたい、人間と自然が共存した生活のあかしを大切にしたいと言われる。

現在は、これまで育んできた生物環境が少なくなっているが、こうした取り組みは特別なものではなく、田んぼの水路や、歩いた足跡に少し水が残っていると、それだけでオタマジャクシは生きていく。蜜の多い野アザミを残すなど、小さな積み重ねや工夫が種の保存につながる。

今後「せら夢公園の自然観察園」が発信源となって進めていきたい。「せら夢公園」の水生生物・植物のこ

となら、何でもおまかせ。是非「せら夢公園」を訪れたら声をかけてほしいと笑顔で話された。

福田 義人



表紙紹介



第35回ひろしまフラワーフェスティバルが広島平和大通り

編集後記

東日本大震災が発生し4ヶ月が過ぎようとしている。しかし、いっこうに進まぬ中央政治に腹立たしさを覚えるのは私だけであろうか。

国会の場での権力闘争に被災地の人々はどんな思いで毎日の報道を見ているのだろうか。

先日、13会場で議会報告会が行なわれた。その中には議会

で5月3日に開催された。せら町・歌と踊りを愛する会 総勢173人が東日本大震災の被災地支援に向け「届けよう希望元気」をスローガンに「花の総合パレード」へ参加された。花いっぱい世羅をアピールした花車、心ひとつに踊った「せらまち音頭」は同コンテストで「審査員特別賞」を受賞された。

に対する厳しい指摘また、切実な地域の実情も聞いた。一番住民に近い政治の難しさを感ずる。

国会議員も本場に現場の痛みを感じるのであれば、もう少し、復興が早く進むかもしれない。いったん失った信頼を回復することは並大抵ではない。

町議会も信頼を失墜しないように積極的に取り組みたい。(松本)

議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は9月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議長	委員	副議長	委員
福田 義人	西田美喜男	松本 秀治	徳光 義昭
調査特別委員会	福田 豪		仙光 保喜

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。
年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。